

■ 文章入力スピード認定試験規則 ■

- 第1条 本協会は、学生、生徒ならびに卒業生、その他に対して日本語入力技能・英語入力技能を認定する。
 第2条 認定する段・級は、特段・初段・1級・準1級・2級・準2級・3級・4級・5級・6級の10種とする。
 第3条 認定試験は、年4回実施する。
 第4条 認定試験は、実技試験とする。
 第5条 認定試験は、「文章入力スピード認定試験基準」により実施する。
 第6条 認定基準に沿って認定証書を授与する。
 なお、認定証書の再発行は行わない。（再発行は認定証明書とする）
 附 則 この試験規則は、令和3年4月1日より施行する。

■ 文章入力スピード認定施行細則 ■

- 第1条 受験希望者は、所定の受験申込書に必要事項を記入のうえ、受験料を添えて期日までに試験会場校に提出しなければならない。
 第2条 受験料は、次のように定める。（税込み）
 【一般受験料】
 1科目 1,500円
 【特定受験料】
 1科目 1,300円
 第3条 受験票は、試験会場に持参しなければならない。
 第4条 試験会場では、試験監督の指示に従わなければならない。
 附 則 この施行細則は、令和4年4月1日より施行する。

■ 文章入力スピード認定試験基準 ■

■ 日本語

1. 内 容 試験時間内に問題文どおりに入力する。
 2. 試験時間 10分間
 3. 認定基準 試験時間内に入力した純字数により以下の段・級を認定する。
 特 段…2,000文字 以上 初 段…1,500文字 以上
 1 級…1,000文字 以上 準1級…800文字 以上
 2 級…600文字 以上 準2級…450文字 以上
 3 級…350文字 以上 4 級…250文字 以上
 5 級…100文字 以上 6 級…50文字 以上
 4. 採点方法 1ミスにつき1文字減とする。（各段・各級とも同じ）
 純字数＝総字数－ミス数

■ 英語

1. 内 容 試験時間内に問題文どおりに（ストレートに）入力する。
 2. 試験時間 10分間
 3. 認定基準 試験時間内に入力した純ストロークス（純字数）により以下の段・級を認定する。
 特 段…4,000ストロークス 以上 初 段…3,000ストロークス 以上
 1 級…2,000ストロークス 以上 準1級…1,600ストロークス 以上
 2 級…1,200ストロークス 以上 準2級…900ストロークス 以上
 3 級…700ストロークス 以上 4 級…500ストロークス 以上
 5 級…200ストロークス 以上 6 級…100ストロークス 以上
 4. 採点方法 1ミスにつき2ストロークス減とする。（各段・各級とも同じ）
 純ストロークス＝総ストロークス－（ミス数×2）

採点規則（日本語）

◎次の文例により、規則を示す。

【文例】

日本は昔から実に環境に優しい暮らしをしていました。土や草、手作りの布や紙に囲まれていたのです。そして、それらは当然のように繰り返し使われてきました。現代は、リサイクルを声高にして叫ばれている時代ですが、日本ではもともとごく自然に行われていました。中でも和紙は、暮らしのさまざまな場面で使われており、今もその素材の素晴らしさは高く評価されています。現在、使用した紙の再生率は、世界的にも高い水準に達しています。今後はこの数字をできる限り伸ばす努力が必要だと思えます。

ニッケン印刷株式会社は、再生紙技術と研究を40年行っているJ. Palmer 教授に経営指導を受けながら、上記の創業者の言葉を実現すべく、努力を重ねて参ります。

	規 則	正しい例	誤った例	ミス
1	誤字 問題と異なった文字が打たれた場合は、問題文の1文字について1ミスとする。	使用した紙の	私用した紙の	1
		暮らしの <u>さまざま</u> な	暮らしの <u>様々</u> な	4
		高く評価されて	<u>たか</u> く評価されて	1
2	全角、半角 数字・英字・カタカナ・記号は半角入力しないこと。 ※半角がある場合は全体で1ミス	40 J. Palmer ニッケン	40 J. Palmer ニッケン ※半角	1
3	段落の始め 問題文どおりとする。 段落の始めは必ず全角1文字分あけること。 ※その箇所ごとに1ミス	日本は昔から実に～ れていたのです。	日本は昔から実に～ ていたのです。	1
4	段落の終わり 問題文どおりとする。 段落の終わりは必ず改行をすること。 ※その箇所ごとに1ミス	～だと思えます。 ニッケン印刷株式～	～だと思えます。ニッケン印 刷株式～ ※段落の終わりに改行がない ※段落の1文字目があいていない	2
5	強制改行 段落の終わり以外で改行をした場合は、その箇所ごとに1ミスとする。	～ました。現代は、リ サイクルを～	～ました。 現代は、リサイクルを～	1
6	飛び字・余分字 余分なスペースを打った場合は、スペース数に関わらず1ミスとする。 問題文以外の文字を打った場合は、その文字数分をミスとする。 同じ文字を再度打った場合は、その文字数分をミスとする。	～そして、それらは	～そして、__それらは ～そして、___それらは	1 1
		できる限り伸ばす	できる限りに <u>伸</u> ばす	1
		紙の再生率	紙の再生の <u>再生</u> 率	3
7	脱字	今後はこの数字を	今後は数字を	2
8	転倒 転倒した文字は、文字数分をミスとする。	必要だと	必要と <u>だ</u>	2
		株式会社	<u>会社</u> 株式	4
9	全文の2度打ち 問題文を打ち終えても2度打ちはしない。2度打ちした分は、総字数に加えない。			
10	長音記号と読点 長音記号「ー」とハイフン「-」の混合は許容範囲として減点はしない。 読点「、」とカンマ「,」はどちらか一方に統一してあれば許容範囲とする。 混合している場合は全体で1ミスとする。			

採点規則（英語）

◎次の文例により、規則を示す。

【文例】

Flying in the air was man's long dream. Many inventors looked on birds as a model. They planned flying machines with wings.

But the first traveler in the air was not in an airplane but in a balloon. Balloons were making journeys in the air a hundred years before the first airplane left the ground.

	規 則	正しい例	誤った例	ミス
1	誤って打たれた語 1語中に誤りがいくつあっても、1ミスとする。	They planned flying	They <u>planed</u> flying They <u>pranned</u> flying They <u>pllaaned</u> flying	1 1 1
2	パラグラフ（段落）の始め 1タブ分（5スペース）空白をとる。 ※その箇所ごとに1ミス	Flying in the air was～ looked on birds as～ wings.	<u>Flying</u> in the air was～ looked on birds as～ wings.	1
3	パラグラフ（段落）の終わり 各パラグラフの終わりは、問題文どおりに改行する。 ※その箇所ごとに1ミス	wings. ㊤ But the first traveler～	wings. __But the first traveler～ ※パラグラフの終わりが改行されていない ※パラグラフの始めの空白がない	2
4	強制改行 パラグラフの終わり以外で改行をした場合は、その箇所ごとに1ミスとする。	Flying ～ Many inventors looked on birds as～ wings.	Flying ～ Many ㊤ inventors looked on birds as～ wings.	1
5	スペースと句読点 スペースと句読点は、前の語の一部分とみなされる。（項目12参照）	Flying in the air was～ looked on birds as～ wings.	<u>Flyingin</u> the air was～ <u>looked _on bi rds</u> as～ <u>wingas:</u>	1 2 1
6	順序を前後して打たれた場合 語の文字や、文中の語・行がおきかえて打たれた場合には誤り（ミス）となるが、おきかえて打たれた語の中に誤りがあれば、さらに誤りとして加えられる。	Flying in the air was～ looked on birds as～ wings. ㊤ But the first traveler～ but in a balloon.	Flying in the air was～ looked <u>birds on</u> as～ wings. ㊤ But the first traveler～ <u>in buut</u> a balloon.	1 2
7	打ちおとし 1語につき3ミスとする。	Flying in <u>the</u> air was～ looked <u>on</u> birds as～ wings. ㊤ But the first traveler～ but <u>in a</u> balloon.	Flying in air was～ looked birds as～ wings. ㊤ But the first traveler～ but balloon.	3 3 6
8	繰り返し語・余分語 余分語を挿入した場合、挿入1箇所でも1ミスであるが、その中に誤りがあれば加算される。	But the first traveler～ but in a balloon. Balloons～ hundred years before～	But the first traveler～ but in <u>in</u> a balloon. Balloons～ hundred years <u>bigg</u> before～	1 2
9	問題文の誤り 問題文に誤りがあったときは、訂正して打つても、また原文のとおり打つてもよい。しかし打たなければ誤りとする。			
10	最後の語 時間がきて、1語の途中で終わったときは、その打ったところまでのストローク数が計算される。ただし、その中に誤りがあれば、1ミスとなる。	but in a balloon. Balloons～ hundred ～ left the ground.	but in a balloon. Balloons～ hundred ～ left the <u>goou</u>	1
11	全文の2度打ち 問題文を打ち終えても2度打ちはしない。2度打ちした分は、ストロークに加えない。			
12	句読点の後のスペースのあけ方 A) Period (.) の後は2スペースあける。 B) Colon (:) の後は2スペースあける。 C) Exclamation Mark (!) の後は2スペースあける。 D) Question Mark (?) の後は2スペースあける。 E) Semicolon (;) の後は1スペースあける。 F) Comma (,) の後は1スペースあける。 G) Hyphen (-) 前後のスペースはあけない。 H) Abbreviation Mark (Ave.) の後は1スペースあける。（ただしAbbreviation Mark がPeriodを兼ねる場合は2スペースあける） 誤った場合はその箇所ごとに1ミスとする。			